

2022年11月16日

**明治安田生命「いい夫婦の日」に関するアンケート調査を実施
夫婦円満の秘訣は、「よく会話」して「感謝の気持ちを言葉で伝える」こと！
出会いのきっかけは、近年「マッチングアプリ」が急増！
理想の有名人夫婦は「ヒロミ・松本伊代」夫妻がV2達成**

明治安田生命保険相互会社（執行役社長 永島 英器）は、11月22日の「いい夫婦の日」にちなんで、夫婦をテーマとしたアンケート調査を実施しましたのでご報告します。

1. 現在の夫婦関係

（1）夫婦円満について（詳細は6ページ参照）

■夫婦仲はコロナ禍が貢献！「一緒にいる時間が増えた」「会話・食事の機会が増えた」ことで夫婦の円満度が上昇

- ・夫婦仲が円満であると回答した人は75.1%（前年度比+4.1pt）と、コロナ禍でも夫婦仲は引き続き円満！
- ・この1年間で夫婦仲が良くなった理由は、「一緒にいる時間が増えたため」（68.5%）、「コミュニケーションや会話の機会が増えたため」（58.8%）、「一緒に食事をする頻度が増えたため」（44.2%）がトップ3と、コロナ禍で“おうち時間”が増えたことが奏功！？

■夫婦円満の秘訣は、「よく会話」して「感謝の気持ちを伝える」こと

- ・夫婦仲が円満であると回答した人に夫婦円満のために必要だと思うことを聞くと、「よく会話をする」（66.4%）、「感謝の気持ちを伝える」（54.6%）、「お互いの健康に気遣う」（45.6%）がトップ3
- ・また、「お互いの健康に気遣う」は、年代を追うごとに増加し、70代ではトップ（65.2%）。いつまでも元気でいてほしいというお互いの気持ちが表れる結果に！
- ・夫婦仲が円満な人の会話時間（平日 154分・休日 285分）は、円満でない人（平日 42分・休日 76分）の約4倍！夫婦円満の秘訣は、よく会話すること！
- ・配偶者から言われた一言は「ありがとう」がトップ（32.7%）で、世代別・男女別ともダントツ。夫婦円満には、どの世代でも感謝の気持ちが大切！

(2) プレゼントについて（詳細は9ページ参照）

■プレゼント回数、プレゼント予算とも過去最高！

- ・プレゼントをする平均回数は、コロナ禍以降3年連続で上昇し、2022年は過去最高の2.6回（昨年比+0.5pt）！
- ・プレゼントするタイミングは、「誕生日」「バレンタイン（ホワイト）デー」「父（母）の日」の順と、特別な日を大切にしている結果！
- ・また、夫婦間での1回あたりのプレゼント予算も16,545円（昨年比+2,022円）と過去最高！

(3) 理想の結婚相手について（詳細は11ページ参照）

■円満な夫婦は、生まれ変わっても同じ人と結婚したい！

- ・生まれ変わっても結婚したいと回答した人は全体では73.1%で、夫婦円満な人（85.2%）と円満でない人（23.1%）では大きな差！
- ・一方で、現在夫婦円満にもかかわらず、生まれ変わったら結婚自体したくない人も一定数存在（14.8%）。理由は、「独身の方が自由気ままだから」（48.9%）、「結婚という形にとらわれずにパートナーとして相手と生活したいから」（33.9%）が多数で、価値観が多様化している現状を反映！？

2. 夫婦の出会いと結婚

(1) 出会いのきっかけについて（詳細は12ページ参照）

■夫婦の出会いのきっかけは「職場の同僚・先輩・後輩」がトップ！

2020年以降の結婚では「マッチングアプリ」が急上昇！

- ・夫婦の出会いのきっかけトップ3は「職場の同僚・先輩・後輩」（29.3%）、「友人・知人の紹介」（24.3%）、「学校の同級生・先輩・後輩」（14.1%）と距離感の近い出会いから交際・結婚に発展！
- ・結婚した年別にみると、「マッチングアプリ」による出会いが2015年～19年に結婚した人の6.6%から、2020年代以降で18.8%、2022年単年では22.6%と急上昇！出会いにもアプリが一般的に

(2) 結婚式・新婚旅行について（詳細は13ページ参照）

■コロナ禍後の結婚、6割以上の人が挙式・新婚旅行を見送り！

新婚旅行の費用は、コロナ禍前の半額以下！

- ・コロナ禍前（2019年12月以前）とコロナ禍後（2020年1月以降）で結婚の実施有無を比較すると、結婚を挙げた人はコロナ禍前では81.3%からコロナ禍後で36.0%と激減。コロナ禍の影響を大きく受ける結果に！
- ・新婚旅行も、コロナ禍前では81.3%だったものが、コロナ禍以降では32.5%と大きく減少
- ・新婚旅行にかかった費用は、コロナ禍後に結婚した人で平均28.2万円と、コロナ禍前に結婚した人（平均61.0万円）の半額以下

明治安田総合研究所フェロー チーフエコノミスト小玉 祐一が「新婚旅行にまつわる費用」を分析！

3. 理想の有名人夫婦（詳細は15ページ参照）

■理想の有名人夫婦は「ヒロミ・松本伊代」夫妻がV2達成

- ・「ヒロミ・松本伊代」夫妻は幅広い年代からの支持を得て昨年に引き続きトップに！
- ・「DAIGO・北川景子」夫妻は、特に20～40代の女性からの支持を得て、昨年から一つ順位を上げ第2位

対象者の属性

1. 調査対象

20～79歳の既婚男女

2. 調査エリア

全国

3. 調査期間

2022年10月12日（水）～10月18日（火）

4. 調査方法

インターネット調査

5. 有効回答者数

1,620人

6. 回答者の内訳

（単位：人）

	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	計
男性	135	135	135	135	135	135	810
女性	135	135	135	135	135	135	810
計	270	270	270	270	270	270	1,620

【 目 次 】

<u>1. 現在の夫婦関係</u>	．．．．． 6 ページ
(1) 夫婦円満について	．．．．． 6 ページ
(2) プレゼントについて	．．．．． 9 ページ
(3) 理想の結婚相手について	．．．．． 11 ページ
<u>2. 夫婦の出会いと結婚</u>	．．．．． 12 ページ
(1) 出会いのきっかけについて	．．．．． 12 ページ
(2) 結婚式・新婚旅行について	．．．．． 13 ページ
<u>3. 理想の有名人夫婦について</u>	．．．．． 15 ページ

1. 現在の夫婦関係

(1) 夫婦円満について

**夫婦仲はコロナ禍が貢献！「一緒にいる時間が増えた」「会話・食事の機会が増えた」
ことで夫婦の円満度が上昇！
夫婦円満の秘訣は、「よく会話」して「感謝の気持ちを伝える」こと**

①現在の夫婦関係について

○現在の夫婦関係が円満であるかについて聞いてみました。

○円満であると回答した人（「円満である」と「まあ円満である」の合計）は、75.1%で、どちらともいえない（15.9%）と円満でない（9.1%、「あまり円満でない」と「円満でない」の合計）の合算を大きく上回り、昨年よりも4 p t 程度高くなりました（2021年 円満であると回答した人 71.0%）。

○この1年間で夫婦仲に変化があったか聞いたところ、29.2%の人が良くなったと回答し、悪くなったと回答した人（10.4%）の約3倍でした。良くなった理由は「一緒にいる時間が増えたため」（68.5%）、「コミュニケーションや会話の機会が増えたため」（58.8%）、「一緒に食事をする頻度が増えたため」（44.2%）がトップ3と、コロナ禍で“おうち時間”が長くなったことに要因がありそうです。

Q. 現在の夫婦関係は円満ですか（単一回答）

回答者数 (人)	円満である計		どちらとも いえない (%)	円満でない計			
	円満である (%)	まあ 円満である (%)		あまり 円満でない (%)	円満でない (%)		
1620	75.1	31.5	43.6	15.9	5.1	4.0	9.1

Q. この一年間の夫婦仲に変化はありましたか（単一回答）

回答者数 (人)	仲がよくなった計 (%)	仲がよくなった (%)		まったく 変わらない (%)	仲が悪くなった計 (%)		仲が悪くなった計 (%)
		仲がよくなった (%)	どちらか とえば 仲がよくなった (%)		どちらか とえば 仲が悪くなった (%)	仲が悪くなった (%)	
1620	29.2	9.5	19.7	60.4	7.1	3.3	10.4

Q. 夫婦仲が良くなった理由は（複数回答）

回答者数 (人)	一緒にいる 時間が増えたため (%)	コミュニケーションや 会話の機会が増えたため (%)	一緒に食事をする頻度 が増えたため (%)	支えになる人が側に おり、心強いと感じたため (%)	価値観やライフスタイルが 合うと改めて実感したため (%)	配偶者が家事や育児に協力的 になったため (%)	共通の趣味を持つようになったため (%)	テレワークにより、配偶者の 仕事への理解が深まったため (%)	その他 (%)
473	68.5	58.8	44.2	24.5	20.5	19.2	14.6	10.4	0.8

②夫婦円満の秘訣について

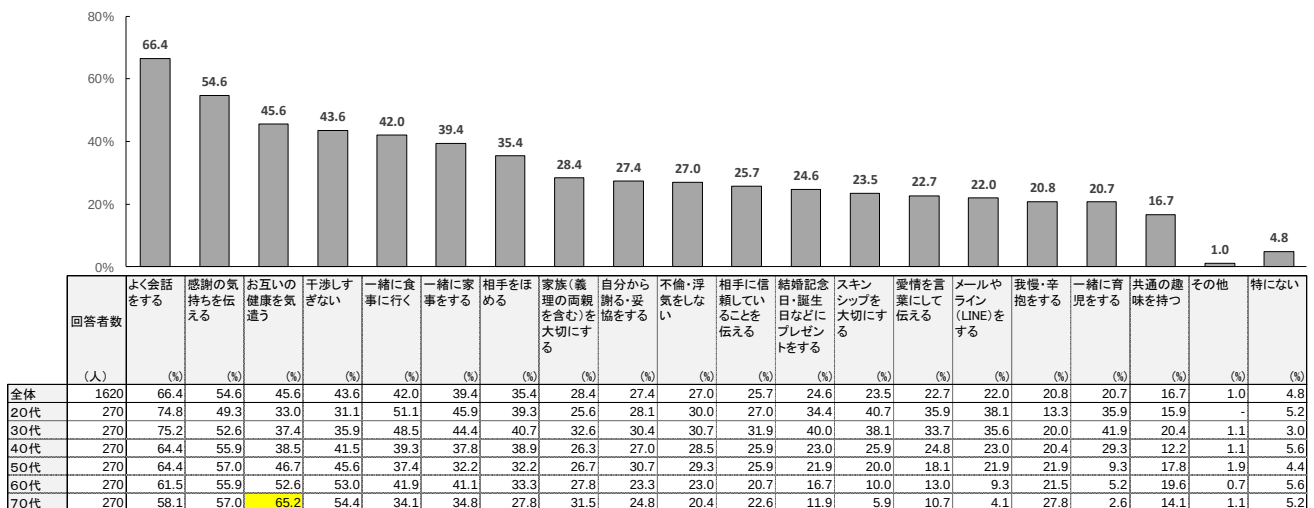
○夫婦円満のために必要なことについて聞いてみました。

○全体では、「よく会話すること」が最も多く（66.4%）、次いで「感謝の気持ちを伝える」（54.6%）、「お互いの健康を気遣う」（45.6%）が続きました。

○世代別に見ると、20代・30代では「一緒に食事に行く」が上位3つにランクインしています（20代 第2位 51.1%、30代 第3位 48.5%）。「お互いの健康を気遣う」は世代を追うごとに増えて、60代・70代では上位で、特に70代では65.2%でトップとなりました（60代では、52.6% 第3位）。長年連れ添った夫婦のいつまでも元気でいてほしいという気持ちが表れたのかもしれません。

Q. 夫婦円満のため必要だと思うことは（複数回答）

（全体、世代別）



○一日の夫婦の会話時間は、平均で平日は131分、休日では240分という結果になりました。

○夫婦仲が円満な人と円満でない人を比較すると、平日は円満な人が154分・円満でない人が42分、休日は円満な人が285分・円満でない人が76分と、円満な人は円満でない人の約4倍程度の会話時間がありました。「よく会話すること」が夫婦円満につながることを裏付け、まさに夫婦円満の秘訣と言えそうです。

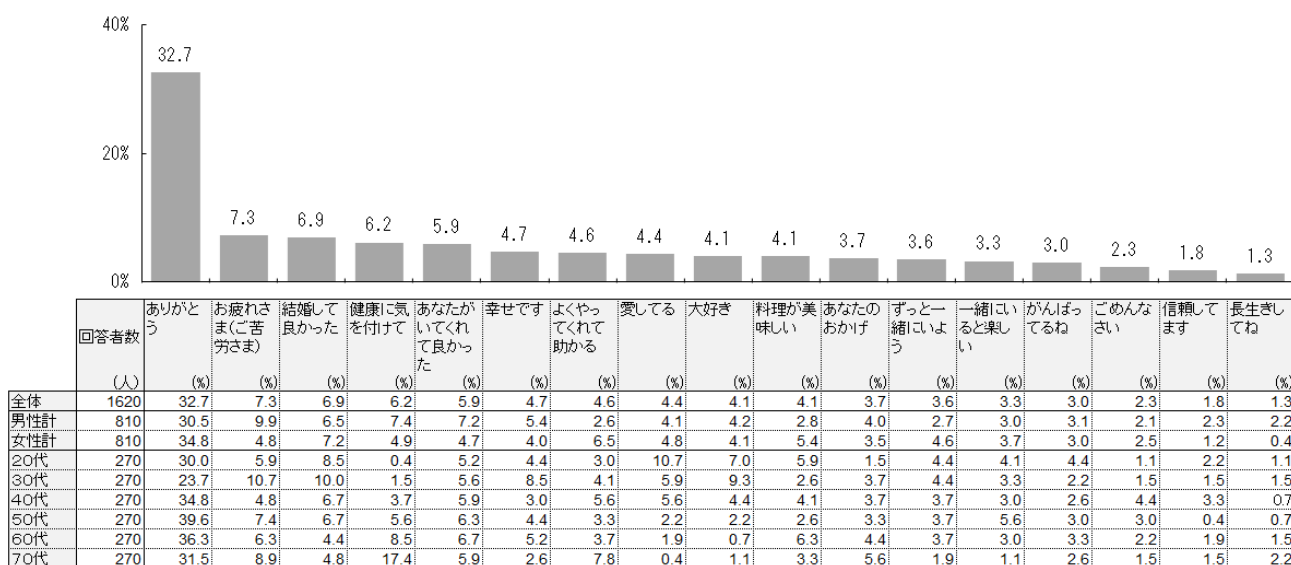
Q. 夫婦の会話時間は

		回答者数 (人)	0分 (%)	1～30分 (%)	～1時間 (%)	～2時間 (%)	～3時間 (%)	3時間超 (%)	平均 (分:0分含む)
平日	全体	1620	3.6	16.9	23.6	23.7	14.9	17.3	131
	円満である計	1216	1.0	9.2	23.1	26.7	18.3	21.7	154
	円満でない計	147	21.1	50.3	11.6	12.2	1.4	3.4	42
休日	全体	1620	2.5	10.5	13.8	16.2	15.0	42.1	240
	円満である計	1216	0.2	4.6	10.5	16.0	16.9	51.9	285
	円満でない計	147	17.0	38.8	17.0	11.6	7.5	8.2	76

○配偶者から最も言われた一言は、「ありがとう」(32.7%)がトップでした。世代別でも男女別でも突出しています。夫婦円満には「感謝の気持ちを伝えること」が大切なのかもしれません。

Q. 配偶者から言われた一言は(複数回答)

(全体、世代別、男女別)



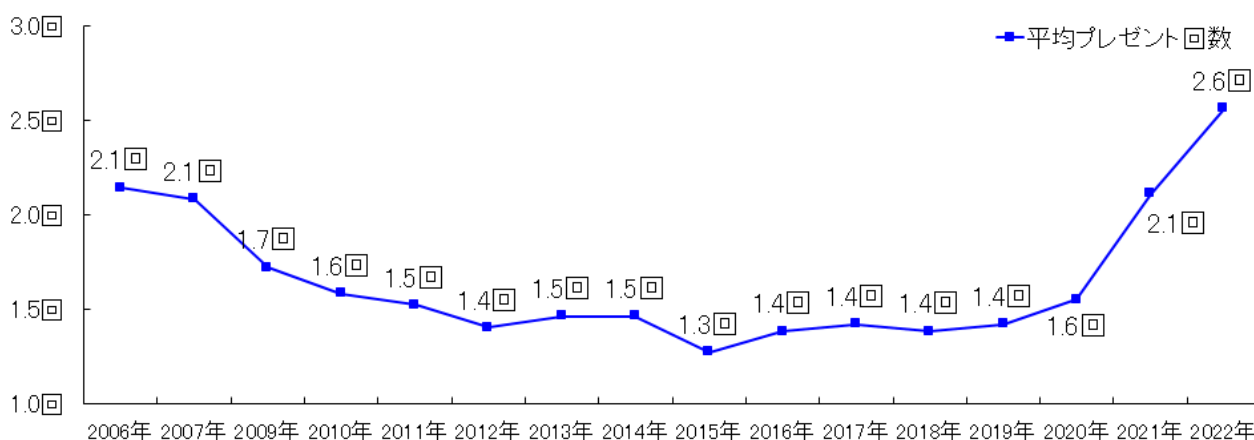
(2) プレゼントについて

プレゼント回数、プレゼント予算とも過去最高！

- 1年間に夫婦間でプレゼントについて聞いてみました（対象：20代から50代）。
- プレゼントをする回数は2.6回と過去最高を記録し、昨年の2.1回から大きく増えました。
- プレゼントをするタイミングでは、「誕生日」、「バレンタイン（ホワイト）デー」、「父（母）の日」の順に高くなっており、特別な日を大切にしているのかもしれません。

Q. 夫婦間で一年間にプレゼントする回数は

（調査開始以来の経年変化（対象：20代から50代））



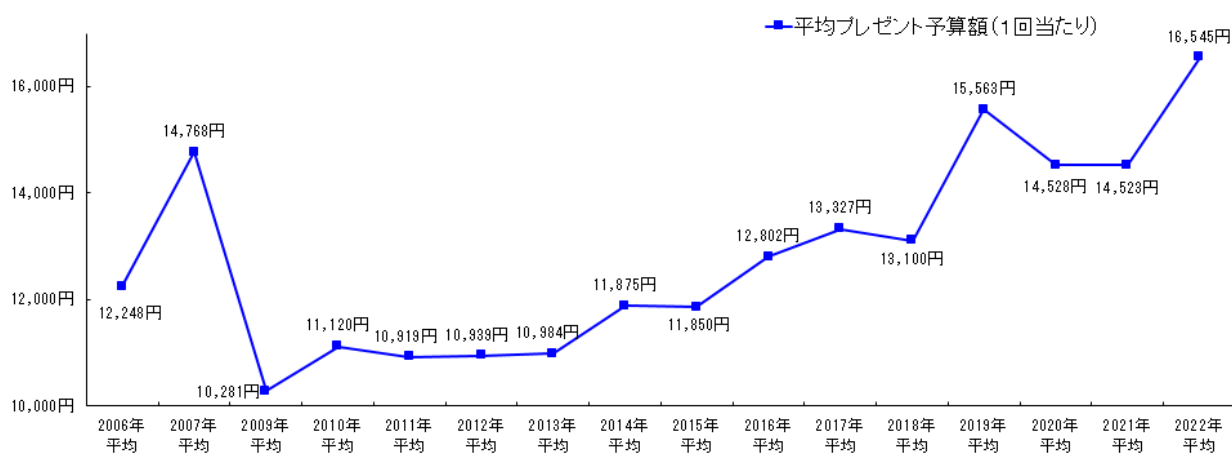
Q. どのタイミングでプレゼントを渡しますか（複数回答）

（表はプレゼントを渡す人の割合）

回答者数 (人)	夫（妻） の誕生日 (%)	バレンタイン（ホワイト）デー (%)	父（母）の日 (%)	結婚記念日 (%)	クリスマス (%)	プロポーズ記念日 (%)	いい夫婦の日 (%)	ハロウィン (%)
1620	57.0	47.2	37.4	32.0	31.4	6.1	5.8	3.9

- また、1回あたりのプレゼント予算も過去最高の16,545円と、昨年よりも2,022円高くなりました。

Q. 1回あたりのプレゼント金額は
 (調査開始以来の経年変化 (対象：20代から50代))



(3) 理想の結婚相手について

円満な夫婦は、生まれ変わっても同じ人と結婚したい！

- 生まれ変わっても結婚したいかを聞いてみました。
- 生まれ変わっても結婚したい人は全体で73.1%と概ね肯定的でした。もちろん、夫婦仲が円満な人は85.2%と高いですが、円満でない人は23.1%と大きな差が生じています。
- また、生まれ変わっても結婚したい人には、結婚相手に現在の配偶者と結婚したいか、それ以外の人との結婚を望むかを質問しました。その結果、現在の配偶者と結婚したいという人は8割以上(80.2%)に上り、夫婦円満な人の場合は84.6%にも上ります。
- 一方で夫婦円満でない人の場合は29.4%しか現在の配偶者との結婚を望んでおらず、夫婦円満な人ほど生まれ変わっても現在の配偶者と結婚したいという傾向です。
- また、夫婦円満な人でも生まれ変わったら結婚自体をしたくない人は一定数存在(14.8%)しています。その理由は「独身の方が自由きままだから」(48.9%)「結婚という形にとらわれずにパートナーとして相手と生活したいから」(33.9%)が多数で、価値観が多様化している現状を反映しているものかもしれません。

Q. 生まれ変わっても結婚したいか

	回答者数 (人)	結婚したい (%)	結婚したくない (%)
全体	1620	73.1	26.9
円満である計	1216	85.2	14.8
円満でない計	147	23.1	76.9

Q. 生まれ変わっても結婚したい場合、相手は現在の配偶者と結婚したいか、それとも現在の配偶者以外か

	回答者数 (人)	今の配偶者と結婚したい (%)	今の配偶者と違う人と結婚したい (%)
全体	1184	80.2	19.8
円満である計	1036	84.6	15.4
円満でない計	34	29.4	70.6

Q. 生まれ変わったら結婚したくない理由(複数回答)

	回答者数 (人)	独身の方が自由気ままだから (%)	結婚という形にとらわれずにパートナーとして相手と生活したいから (%)	自由に恋愛したいから (%)	自分が一人でやりたいことがあるため (%)	独身の方が裕福だから (%)	別れる際、離婚するまでが大変なため (%)	結婚に関する手続きが大変なため (%)	仕事に集中したいため (%)	結婚式などのイベントが大変なため (%)	その他 (%)
全体	436	49.5	24.1	21.8	21.1	15.1	13.1	8.3	6.7	6.4	8.3
円満である計	180	48.9	33.9	22.2	19.4	14.4	8.3	8.3	5.0	6.1	10.0
円満でない計	113	48.7	15.9	19.5	22.1	19.5	26.5	7.1	8.8	6.2	5.3

2. 夫婦の出会いと結婚

(1) 出会いのきっかけについて

**夫婦の出会いのきっかけは「職場の同僚・先輩・後輩」がトップ！
2020年以降は「マッチングアプリ」が急上昇！**

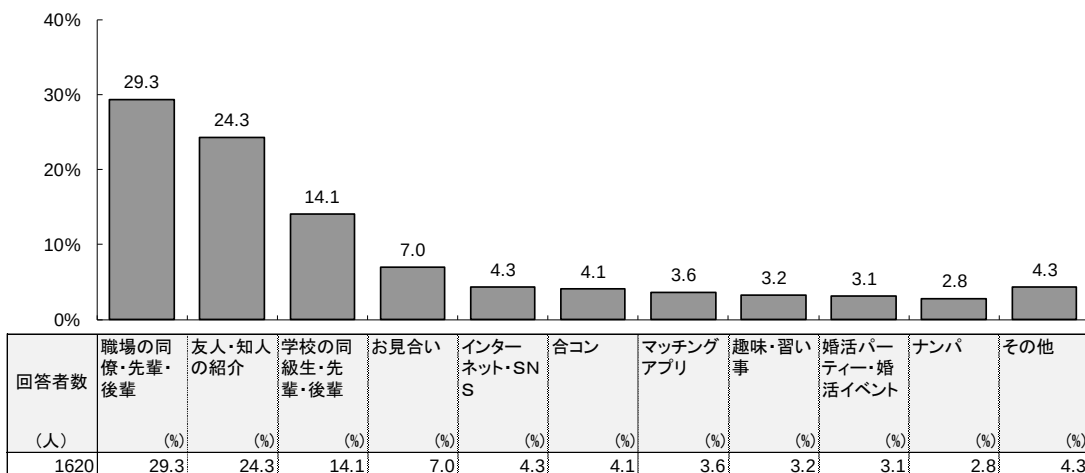
○夫婦の出会いのきっかけについて聞いてみました。

○出会いのきっかけは「職場の同僚・先輩・後輩」が最も多く（29.3%）、次いで「知人・友人の紹介」（24.3%）、「学校の同級生・先輩・後輩」（14.1%）と、日常生活における距離の近い出会いから交際・結婚に発展していることがわかりました。

○一方、近年では「マッチングアプリ」による出会いが増加傾向にあります。結婚した年別にみると、2009年以前に結婚した人のうち、「マッチングアプリ」で出会ったと回答した人は0%であったものの、2015年～2019年に結婚した人では6.6%、その後大幅に増加し、2020年代以降に結婚した人では、18.8%が「マッチングアプリ」で出会ったと回答しました。2022年単年でみると、5人に1人以上が（22.6%）「マッチングアプリ」で出会ったと回答しており、年々増加していることがわかります。

○スマートフォンの普及により、「マッチングアプリ」が身近なものとして感じられるようになったことに加え、新型コロナウイルス感染拡大を受けたテレワークの推進や外出自粛など、“リアル”での出会いが減少していたなか、新たな出会いのカタチとして定着しつつあり、今後も一般的になっていくのかもしれない。

Q. 夫婦の出会いのきっかけは何ですか（単独回答）



■「マッチングアプリ」で出会った人 結婚した年別比較

結婚した年	割合	結婚した年	割合
～2009年	0.0%	2020年	17.9%
2010年～2014年	2.4%	2021年	16.9%
2015年～2019年	6.6%	2022年	22.6%
2020年～2022年	18.8%		

特にコロナ禍以降に増加！

（２）結婚式・新婚旅行について

**コロナ禍後の結婚、６割以上の人が挙式・新婚旅行を見送り！
新婚旅行の費用は、コロナ禍前の半額以下！**

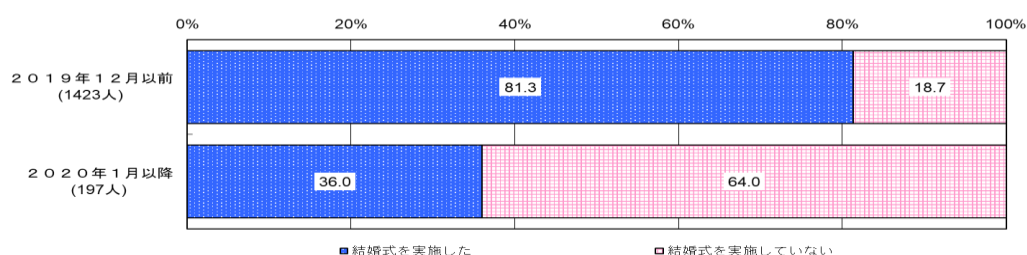
○コロナ禍前（２０１９年１２月以前）に結婚した人とコロナ禍後（２０２０年１月以降）に結婚した人に分けて、結婚式と新婚旅行について聞いてみました。

○まず、結婚式の実施有無を比較すると、コロナ禍前に結婚した人の８１．３％が結婚式を挙げたのに対し、コロナ禍後に結婚した人では３６．０％と激減しており、コロナ禍の影響を大きく受ける結果になりました。

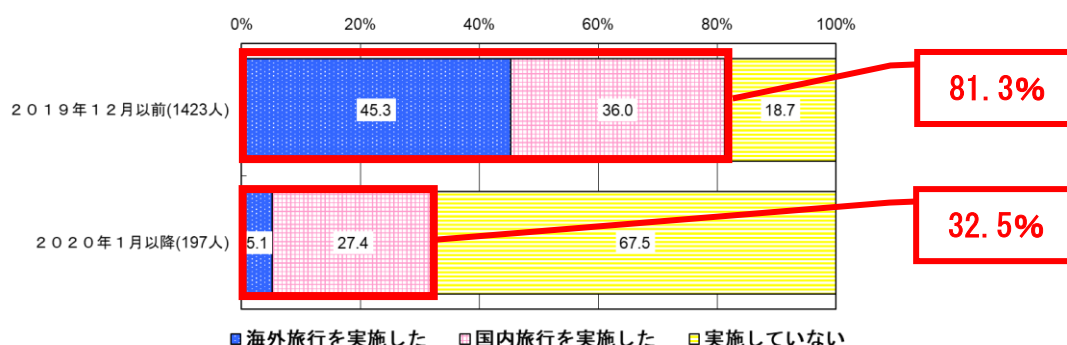
○また、新婚旅行（国内旅行と海外旅行を実施した人の合計）の実施有無を比較すると、コロナ禍前に結婚した人の８１．３％が新婚旅行を実施したのに対し、コロナ禍後に結婚した人は３２．５％と大きく減少し、新婚旅行についてもコロナ禍の影響を見受けられます。

○また、新婚旅行にかかった費用は、コロナ禍後に結婚した人の費用（２８．２万円）はコロナ禍前に結婚した人に費用（６１．０万円）の半額以下という結果になりました。これは、コロナ禍後に結婚した人が、新婚旅行で海外旅行をほとんど実施できていないことが影響しているかもしれません（海外旅行を実施した人／コロナ禍後に結婚した人：５．１％⇒コロナ禍前に結婚した人：４５．３％）。

Ｑ．結婚式の実施状況（単一回答）



Ｑ．新婚旅行の実施状況（単一回答）



Ｑ．新婚旅行の費用は

（単位：円）

	コロナ禍前に結婚した人	コロナ禍後に結婚した人
新婚旅行の費用（平均）	610,470	282,326

～フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一はこう見る！～

■明治安田総合研究所 フェロー チーフエコノミスト 小玉 祐一



コロナ禍以降に結婚した人は、結婚式、新婚旅行ともコロナ禍前の80%台から30%台に激減していることが明らかになりました。新婚旅行に要した費用も半分以下になるなど、コロナ禍は、結婚のスタイルを大きく変えたといえそうです。

憧れのイベントを苦渋の決断で見送ったカップルがいる反面、結婚費用を節約できるいい機会と捉えたカップルもいるでしょう。コロナ収束後は、再び結婚式や新婚旅行を実施するカップルが増えると予想されますが、コロナ前の水準に戻るかどうかは微妙です。簡素な結婚スタイルがある程度定着する可能性もかなり高いのではないかと思います。

高度経済成長期に定着した、結婚式＝ホテルでの豪華な披露宴という画一的な図式はすでに崩れて久しいとはいえ、若いカップルにとっては大きな出費だったのは間違いありません。結婚式や旅行の費用を抑えることで、結婚指輪や家財道具により多くの予算を割くことも可能になります。ブライダル産業にとっては、新たな戦略が必要になるということかもしれません。

3. 理想の有名人夫婦

理想の有名人夫婦は「ヒロミ・松本伊代」夫妻がV2達成

○最後に、毎年恒例の「理想の有名人夫婦」について聞いてみました。

○「ヒロミ・松本伊代」夫妻が昨年に引き続きトップを獲得しました。20～70代の幅広い年代から支持されています。

○2位は、昨年3位だった「DAIGO・北川景子」夫妻がランクインしました。特に20～40代の女性から高い支持を得ています。

○「唐沢寿明・山口智子」夫妻は、特に40～60代の女性から支持を得て、3位を獲得しました。

Q. 理想の有名人夫婦は（単一回答）※敬称略

理想の有名人夫婦 トップ10

順位	理想の有名人夫婦	占率	回答者数	昨年順位
1位	ヒロミ・松本伊代	6.9%	111人	(1位)
2位	DAIGO・北川景子	6.5%	105人	(3位)
3位	唐沢寿明・山口智子	5.4%	88人	(2位)
4位	桑田佳祐・原由子	4.0%	64人	(4位)
5位	佐々木健介・北斗晶	3.5%	57人	(5位)
6位	杉浦太陽・辻希美	3.3%	53人	(5位)
7位	西川きよし・西川ヘレン	3.2%	52人	(8位)
7位	藤井隆・乙葉	3.2%	52人	(14位)
7位	山下達郎・竹内まりや	3.2%	52人	(7位)
10位	水谷豊・伊藤蘭	3.1%	51人	(13位)

【性別・年齢別】

※敬称略

各項目トップ3を網掛け表示

順位	理想の有名人夫婦	占率								男性							女性						
			20代	30代	40代	50代	60代	70代		20代	30代	40代	50代	60代	70代		20代	30代	40代	50代	60代	70代	
1位	ヒロミ・松本伊代	6.9%	4.4%	6.7%	8.9%	9.6%	5.9%	5.6%	6.9%	5.2%	6.7%	8.9%	9.6%	4.4%	6.7%	6.8%	3.7%	6.7%	8.9%	9.6%	7.4%	4.4%	
2位	DAIGO・北川景子	6.5%	9.3%	11.5%	9.3%	3.3%	3.0%	2.6%	4.8%	5.2%	8.9%	6.7%	3.7%	2.2%	2.2%	8.1%	13.3%	14.1%	11.9%	3.0%	3.7%	3.0%	
3位	唐沢寿明・山口智子	5.4%	2.6%	3.3%	11.5%	7.0%	4.4%	3.7%	4.1%	2.2%	4.4%	5.9%	5.2%	2.2%	4.4%	6.8%	3.0%	2.2%	17.0%	8.9%	6.7%	3.0%	
4位	桑田佳祐・原由子	4.0%	1.5%	1.1%	2.6%	5.6%	8.1%	4.8%	4.8%	3.0%	2.2%	4.4%	5.9%	8.1%	5.2%	3.1%	-	-	0.7%	5.2%	8.1%	4.4%	
5位	佐々木健介・北斗晶	3.5%	2.6%	3.3%	3.3%	4.8%	4.8%	2.2%	3.1%	1.5%	3.0%	5.9%	1.5%	5.2%	1.5%	4.0%	3.7%	3.7%	0.7%	8.1%	4.4%	3.0%	
6位	杉浦太陽・辻希美	3.3%	9.6%	5.2%	1.5%	0.7%	0.7%	1.9%	2.3%	6.7%	3.0%	2.2%	0.7%	-	1.5%	4.2%	12.6%	7.4%	0.7%	0.7%	1.5%	2.2%	
7位	西川きよし・西川ヘレン	3.2%	0.4%	0.7%	0.7%	3.7%	5.2%	8.5%	3.6%	-	0.7%	1.5%	5.9%	6.7%	6.7%	2.8%	0.7%	0.7%	-	1.5%	3.7%	10.4%	
7位	藤井隆・乙葉	3.2%	1.1%	6.3%	6.7%	3.3%	1.1%	0.7%	3.1%	2.2%	5.2%	5.2%	3.7%	1.5%	0.7%	3.3%	-	7.4%	8.1%	3.0%	0.7%	0.7%	
7位	山下達郎・竹内まりや	3.2%	0.7%	0.7%	3.7%	4.8%	5.6%	3.7%	3.1%	0.7%	1.5%	4.4%	3.0%	4.4%	4.4%	3.3%	0.7%	-	3.0%	6.7%	6.7%	3.0%	
10位	水谷豊・伊藤蘭	3.1%	0.7%	1.5%	2.2%	3.0%	6.7%	4.8%	3.5%	1.5%	0.7%	1.5%	3.7%	8.9%	4.4%	2.8%	-	2.2%	3.0%	2.2%	4.4%	5.2%	

以上